

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



日本銀行本店

皆さん、こんにちは。春本番ですね。でも「花冷え」の日もありますから、くれぐれもご自愛ください。国会も冷え冷えとしていきます。「野党のせいだ」、「与党のせいだ」といろいろご批判、ご意見があることと思います。しかし、「福田さんの責任は重い」ということは申し上げざるを得ないと思います。

国の最高指導者として、その時々々の政治経済情勢を踏まえ、指導力を発揮して国会を動かしていく、政治を動かしていくのが首相の仕事。これは、どなたが首相になっても同じです。

日本の政治や社会のしくみが硬直化し、経済も失速し、国際社会における日本の地位も著しく低下。だからこそ、

国民の皆さんが、「今までどおりのしくみでいいかどうか、虚心坦懐に話し合って、日本の国を良い方向にもっていったほしい」という思いで、衆議院は自民党、参議院は民主党という「首相が指導力を発揮しなければならぬ」状況をつくりあげました。

こうした状況であるにもかかわらず、例えば道路特定財源。福田さんは、半世紀以上に前に戦後復興のためにできた税制を、向こう十年間続け、その間に五九兆円の財源を道路だけに使う法案を国会に提出。全体の財源が足りない中、医療、介護、教育、中小企業対策など、もっと優先度の高い懸案があるのではないのでしょうか。そのことを虚心坦懐に話し合いたくても、十年継続という法案が成立してしまふと、十年間は話し合いができません。福田さん、本当にそれでいいのでしょうか。

日銀人事も同じです。日本経済は、日銀と財務省(大蔵省)で上りつめた人が交替で日銀総裁を務めるといふ古き蒼然とした儀式のような人事をやっている場合ではありません。与野党が合意できる人を、多くの有能な人材の中から

ら時間をかけて選ぶという状況をつくるのが、現下の最高指導者、首相としてやるべきことでした。どうしても時間的余裕をもって提案をしなかったのでしょうか。

福田さんが「任期切れギリギリになって、十分な検討時間なしでは野党が合意し難いことが分かっている案を提示し、困って合意すればそれでよし、否決して経済が混乱すれば野党の責任」という対応を選択したことは残念至極。

日銀人事が混乱し、武藤さんという候補者を厳しい立場に追い込んでしまったのは、それは福田さんです。

福田さんは日銀人事の際にテレビカメラの前で「困りましたね」と発言していました。が、困っているのは国民の皆さんと野党だと思えます。福田さん、虚心坦懐に話し合える環境を是非つくってください。「そんなこと言われても、困りましたね」という福田さんのつぶやきが聞こえてきそうですが、僕たちも困ります。

かわら版執筆者 大塚耕平

1959年生まれ。日泰寺の地元、田代小学校、城山中学校を卒業。その後、旭丘高校、早稲田大学をへて、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。現在2期目。地元の覚王山に事務所を開き、故郷 覚王山の地元振興と歴史・文化遺産の継承・復興のために「弘法さんかわら版」を執筆しています。今年で足かけ7年目。

日銀時代に母校の大学院博士課程を修了(学術博士)。現在は早稲田大学と中央大学大学院の客員教授も務めています。

弘法さんかわら版
配り手ボランティア

募集

弘法さん
かわら版

since 2002

毎月21日
午前9時~11時
覚王山日泰寺参道で
お待ちしております!!

連絡先: 052 757 1955 黒田/佐久間

